

募集人数	2名（平成29年3月末までの初期臨床研修修了者）
見学 面接	随時対応 ※詳細は募集要項をご覧ください。
プログラム責任者	廣橋 一裕（救急・総合診療センター顧問）
所属医師	<p>廣橋 一裕（日本プライマリ・ケア連合学会指導医）</p> <p>池邊 孝（日本プライマリ・ケア連合学会指導医）</p>
病床数	15床
関連施設	<p>大阪市立大学附属病院、市立藤井寺市民病院</p> <p>菜の花診療所、丹比荘病院、大正病院</p>
指導体制に関する 特長	<p>本研修プログラムには、総合診療専門研修指導医が総計7名、具体的には東住吉森本病院総合診療科に2名、大阪市立大学医学部附属病院に3名、市立藤井寺市民病院に1名、菜の花診療所に1名在籍している。</p> <p>指導医には臨床能力、教育能力について、6つのコアコンピテンシーを具体的に実践していることが求められている。本研修プログラムの指導医についてもレポートの提出などによりそれらを確認している。また総合診療専門研修指導医講習会（1泊2日程度）の受講を経て、理解度についての試験を行うことでその能力が担保されている。</p> <p>なお、指導医は日本プライマリ・ケア連合学会認定のプライマリ・ケア認定医および認定指導医より選任されている。</p>
全体的な研修目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 幅広い視野で患者を診ることができる。 2. 患者背景を考慮した診療を提供できる。 3. 複数の疾患を有する高齢者や障害者の健康管理ができる。 4. 患者及び家族、地域社会のニーズに合った対応ができる 5. プライマリ・ケア、在宅診療、緩和ケア、救急に必要な知識、技能、態度を身に付ける。